



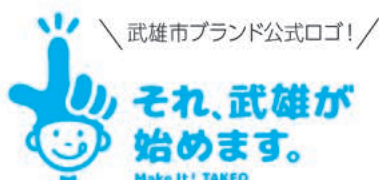
▲武雄旅書店（御船山口側）



▲武雄温泉駅観光案内所（楼門口側）

TAKEO

広報武雄 No.200 2022年10月号



市民の皆さまへ

新型コロナウイルスの感染状況により、本誌に掲載されている行事・イベントの開催予定が変更になる場合があります。市や主催者ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

掲載している情報 ▶ 9/22時点

CONTENTS

▶ 特集	祝・広報武雄200号	…01
ニュース	武雄こども園様が佐賀県食育賞を受賞されました 武雄市放課後児童クラブに大型救急箱の寄贈をしていただきました	…06
たけおキッズウィーク		…09
都市計画を見直します		…11
カレンダー		…17
お知らせ	個人の方の農業経営収入保険申込期限は11月末までです 身体障がい者を対象とした巡回相談を実施します	…19
おたんじょうおめでとう		…34

発行・編集／ 武雄市役所 企画部 広報課 ☎0954-23-9121
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
印刷／ 有限会社 四季の丘印刷



市長だより

武雄のイメージカラーといえば、どの色を思い浮かべますか。赤（楼門）、緑（クスノキ）など人それぞれでしょうが、実は青も武雄を象徴する色の一つなのです。

ヨーロッパで大変貴重とされた絵の具の原料である「ウルトラマリンブルー」と「プルシアンブルー」は鮮やかさが際立つ青色。この顔料は江戸時代に日本に輸入され、浮世絵の表現を革命的に変えたと言われています。

これをオランダを通じて収集したのが、第28代武雄領主の鍋島茂義公。8年前に国の重要文化財に指定されましたが、当時輸入したものか今でも残っているのは日本では武雄市だけ。とても誇らしいことです。他にも、武雄には青磁がありますし、茂義公もウルトラマリンブルーや群青を使って多くの絵画を残すなど、武雄は青と緑があるのです。

実際、JR九州のはからいで、武雄温泉駅の西九州新幹線ホームにあるホームドアは、武雄のカラーとして青色が使われたと聞きました。白と赤のかきめに乗る前には、ぜひ青にも注目してみてください。

武雄市長 小松 政